

## 諸外国の規制状況等

- オーストリア:果実ジュース (Fruit juice) 50ppb
- チェコ:全ての食品 (All foods) 50ppb  
子供向け食品 (Children foods) 30ppb  
幼児向け食品 (Infant foods) 20ppb
- フィンランド:全ての食品 (All foods) 50ppb
- フランス:りんごジュース (加工品) (Apple juice(products)) 50ppb
- ギリシャ:  
りんごジュース (Apple juice)、りんご加工品 (Apple products) 50ppb
- イスラエル:りんごジュース (Apple juice) 50ppb
- ノルウェー:りんごジュース (濃縮) (Apple juice(concentrated)) 50ppb
- ルーマニア:全ての食品 (All foods) 30ppb
- ロシア:  
瓶詰め/缶詰/ポット詰めされた果実及びベリー類 (bottled/canned/potted fruits and berries)、瓶詰め/ポット詰め/缶詰された野菜 (bottled/potted/canned vegetables) 50ppb
- スウェーデン:ベリー類 (berry)、果実 (fruits)、ジュース (juices) 50ppb
- スイス:果実ジュース (Fruit juice) 50ppb
- ウルグアイ:果実ジュース (Fruit juice) 50ppb
- イギリス (guideline limit):りんごジュース (Apple juice) 50  $\mu$ g/kg
- アメリカ (action level):  
りんごジュース (single strength apple juice)、濃縮還元りんごジュース

(reconstituted single strength apple juice)、食品中のりんごジュース成分  
(single strength apple juice component of the food) 50  $\mu$ g/kg

○FAO/WHO 合同食品規格委員会（コーデックス委員会）：

食品添加物・汚染物質部会（CCFAC）において検討中（りんごジュース  
(Apple juice) 及びその他の飲料中のりんごジュース成分 (Apple juice  
ingredients in other beverages) について基準値案 50  $\mu$ g/kg でステップ8と  
して総会に諮ることで合意)

○FAO/WHO 合同食品添加物専門家会合（JECFA）：

第44回 JECFA（1995年）において、パツリンの毒性評価がなされ、ラットの2  
年間の投与試験において影響が見られなかったことから、この研究を基に無影響  
量（NOEL）43  $\mu$ g/kg ラット bw/day に安全係数 100 を乗じて、暫定的耐容一日摂取  
量（PMTDI）として、0.4  $\mu$ g/kgbw/day が設定された。

\* 出典 FAO: Worldwide regulations for mycotoxins 1995. A compendium, FAO  
Food and Nutrition Papers, Number 64, 1997

\* イギリス、アメリカ及びコーデックス委員会についてはホームページより